

令和5年度

「RESAS」(地域経済分析システム)を活用した
分析調査

調査報告書

令和6年3月

一迫花山商工会

目 次

はじめに	1
I 「RESAS」(地域経済分析システム)を活用した分析調査	1
1. 調査目的	1
II 分析調査結果	2
1. 人口推移	2
2. 地域経済循環図	4
3. 観光マップ、まちづくりマップ	6
4. 産業構造マップ	10

■はじめに

RESAS（地域経済分析システム：リーサス）は、国内の市町村単位で産業構造や人口動態、人の流れなどに関するデータを集約し、グラフなどで分かりやすく可視化したシステムで、経済産業省と内閣官房が無料で提供しています。

一迫花山商工会では、RESASを活用し、「人口推移」、「地域経済循環図」、「観光マップ」、「まちづくりマップ」、「産業構造マップ」について、栗原市の分析をしましたので、ご活用ください。

RESAS（地域経済分析システム：リーサス） <https://resas.go.jp/>

I 「RESAS」（地域経済分析システム）を活用した分析調査

1 調査目的

一迫花山商工会が経営発達支援計画の認定を受け、一迫地区・花山地区における消費動向等、地域の経済動向の分析・整理を行い、この情報を事業者に提供し、事業者の事業計画等の策定を行う基礎資料として活用することを目的に実施した。

Ⅱ 分析調査結果

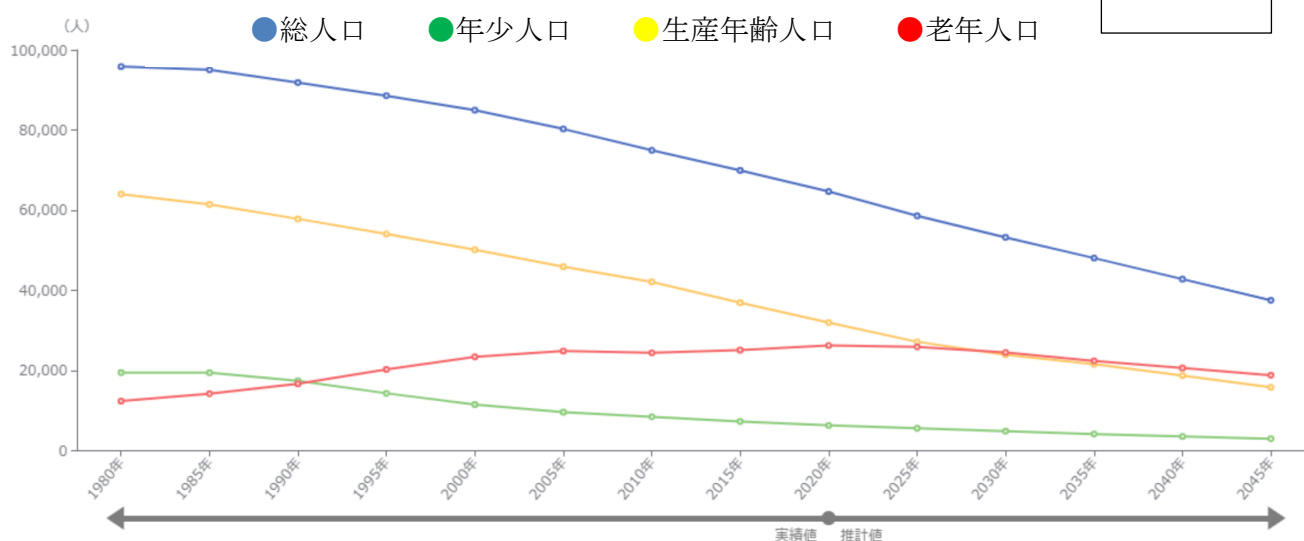
1. 人口推移

栗原市において1985年以降は、総人口、年少人口、生産年齢人口が減少傾向にあり、老年人口が増加している。2030年には老年人口が生産年齢人口を上回り、全ての人口が減少していくことが予測されています。

宮城県全体では、2000年に老年人口が年少人口を上回り、高齢人口が増加傾向にあり、今後は総人口、年少人口、生産年齢人口が緩やかに減少、高齢人口が増加していくことが予測されています。

人口推移

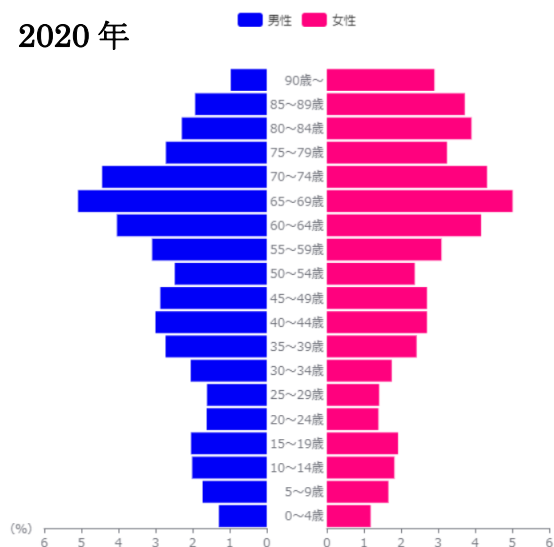
栗原市



人口ピラミッド

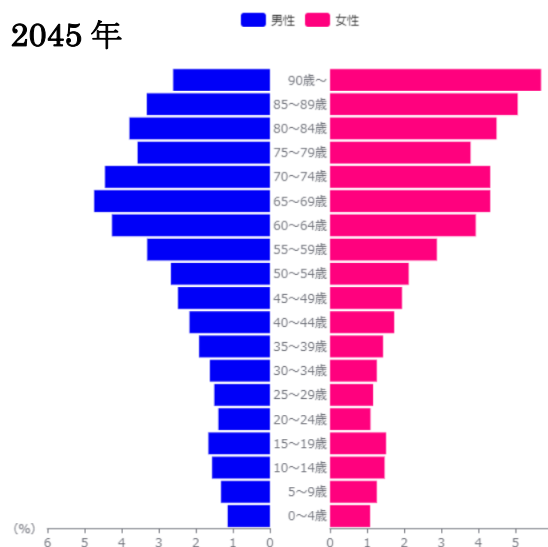
■ 男性 ■ 女性

2020年



老年人口 (65歳以上)	: 26,204人 (40.54%)
生産年齢人口 (15歳~64歳)	: 31,948人 (49.43%)
年少人口 (0歳~14歳)	: 6,262人 (9.69%)

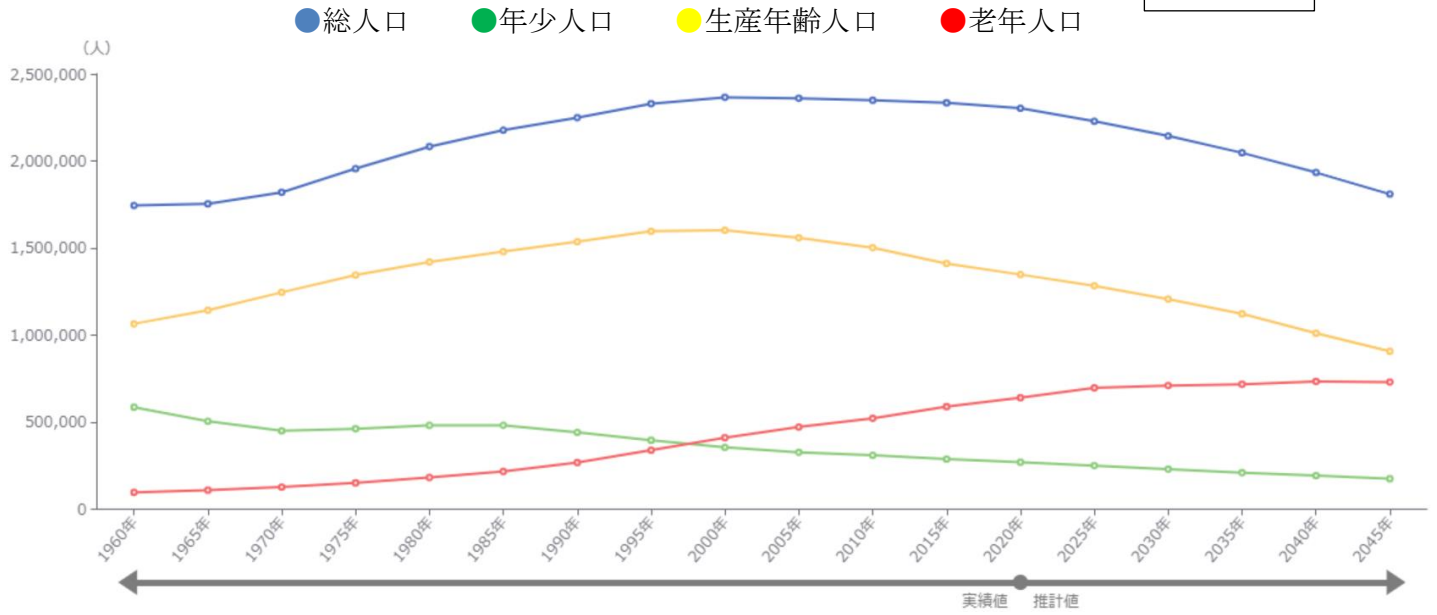
2045年



老年人口 (65歳以上)	: 18,802人 (50.14%)
生産年齢人口 (15歳~64歳)	: 15,755人 (42.02%)
年少人口 (0歳~14歳)	: 2,939人 (7.84%)

人口推移

宮城県



人口ピラミッド

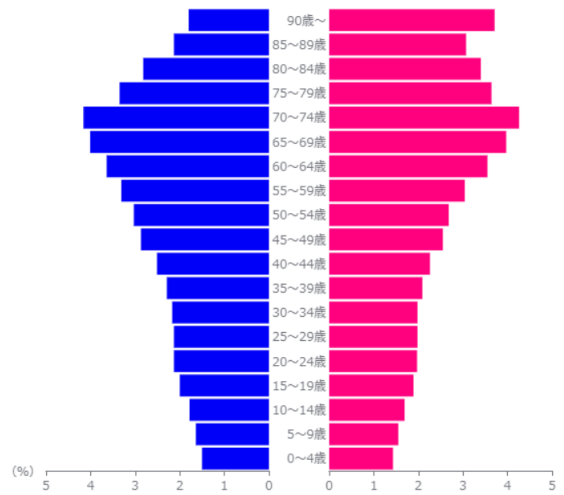
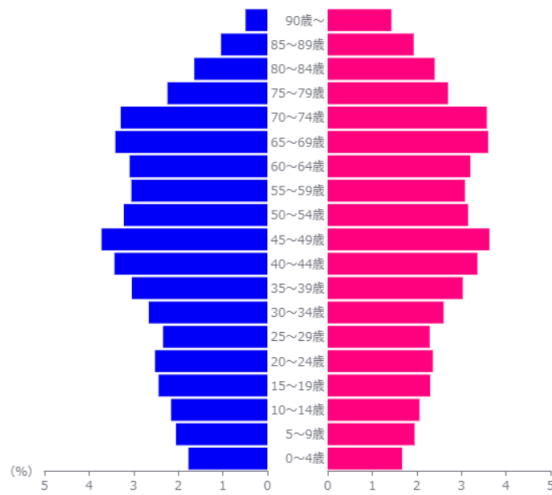
■ 男性 ■ 女性

2020年

■ 男性 ■ 女性

2045年

■ 男性 ■ 女性



老年人口 (65歳以上)	: 638,984人 (27.76%)
生産年齢人口 (15歳~64歳)	: 1,346,845人 (58.51%)
年少人口 (0歳~14歳)	: 268,428人 (11.66%)

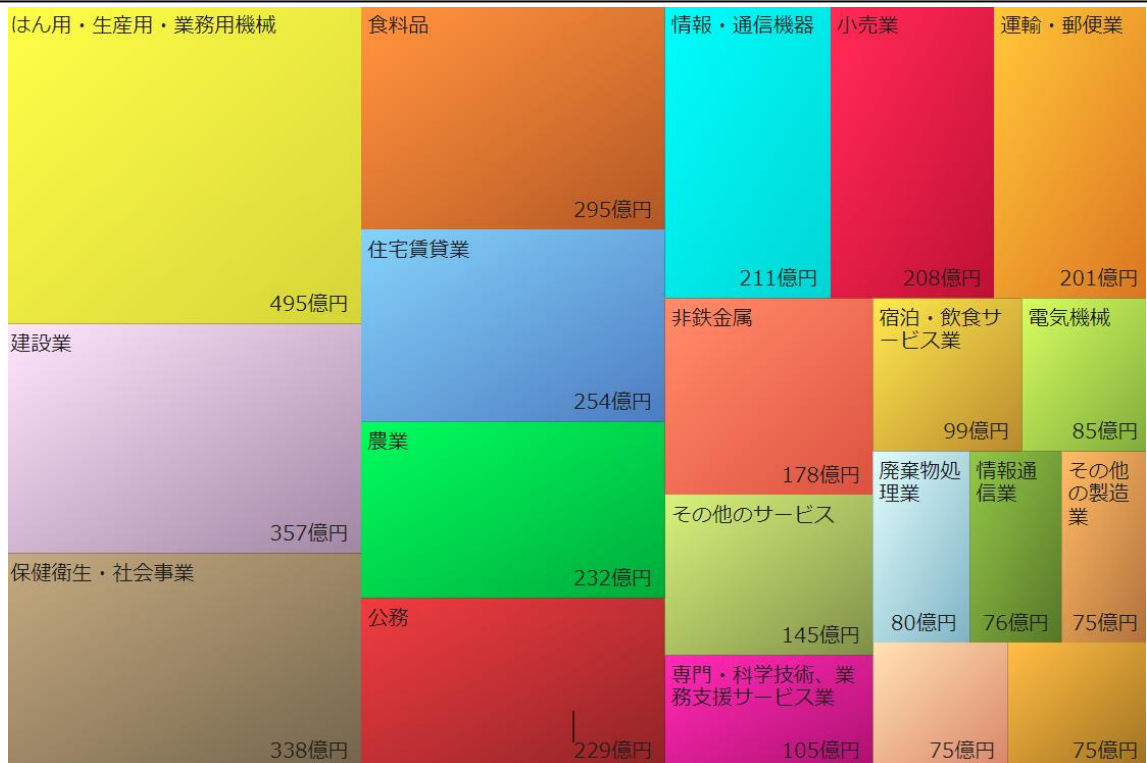
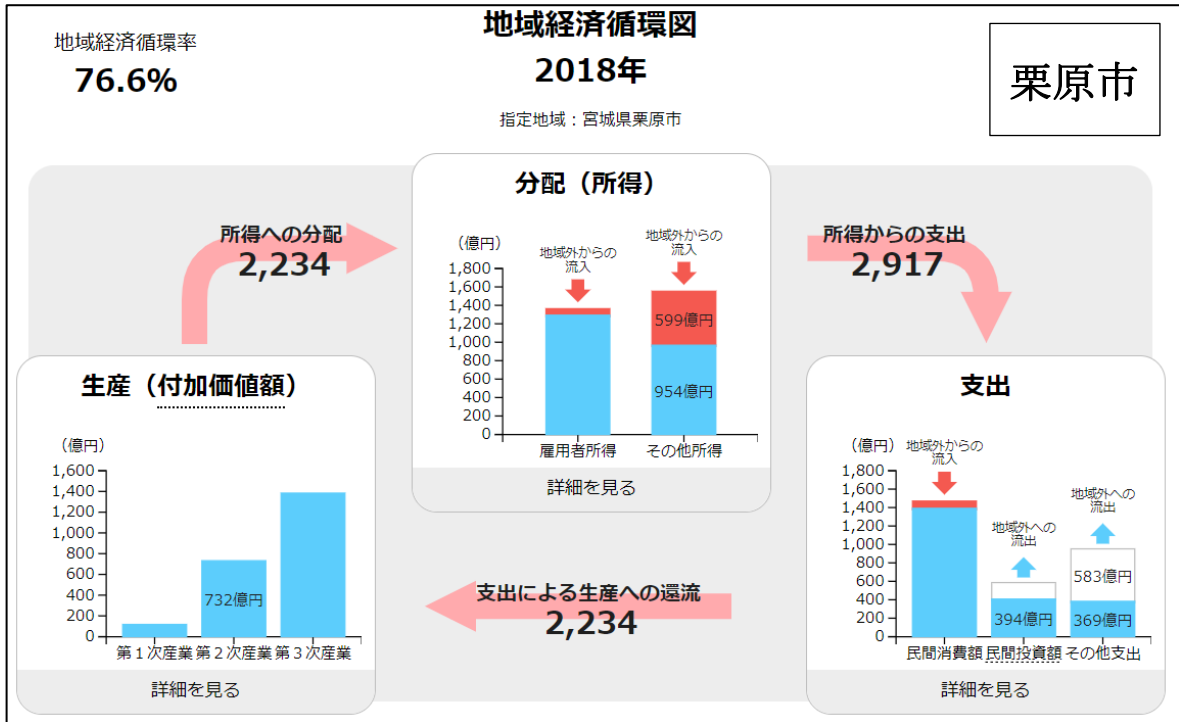
老年人口 (65歳以上)	: 729,395人 (40.32%)
生産年齢人口 (15歳~64歳)	: 905,996人 (50.08%)
年少人口 (0歳~14歳)	: 173,630人 (9.6%)

2. 地域経済循環図

地域内企業の経済活動を通じて生産された付加価値は、労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出され、再び地域内企業に還流します。

また、地域経済循環率とは、生産（付加価値額）を分配（所得）で除した値であり、地域経済の自立度を示しています。（値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い）

栗原市の地域経済循環率は宮城県より低いものの、2015年対比で3.8%増となっており、生産付加価値額のおよそ半数が第3次産業によるものとなっています。

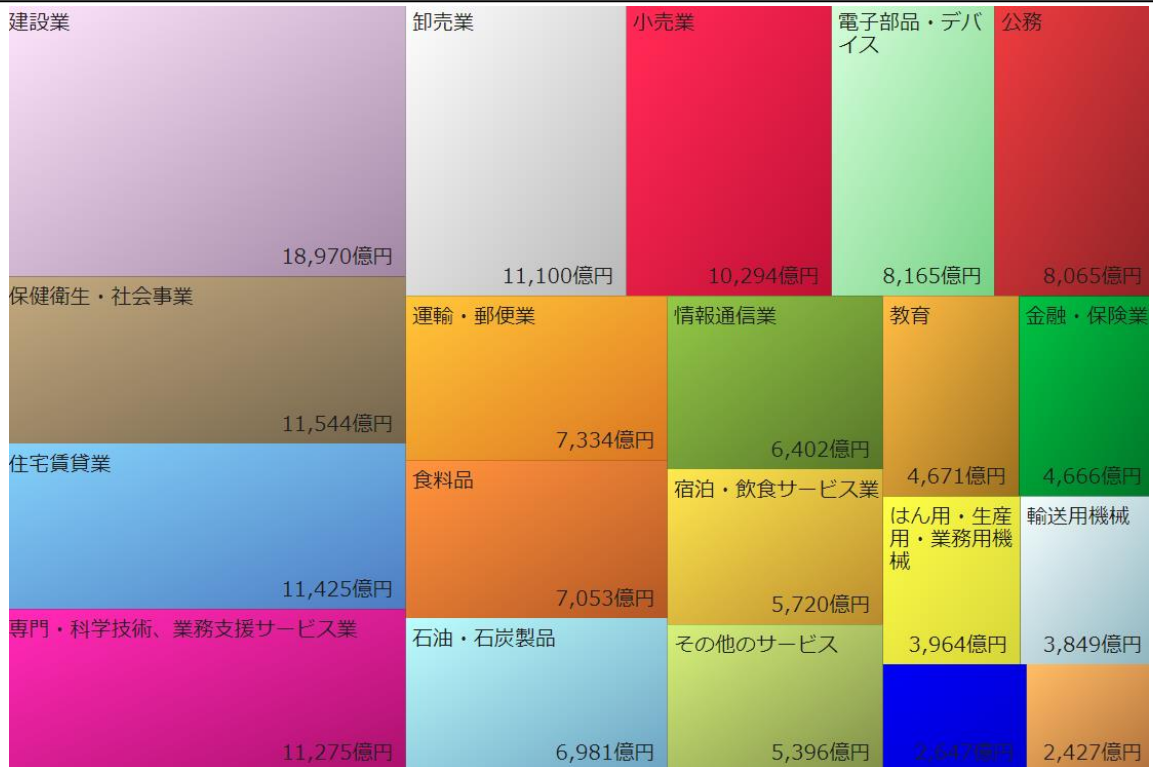
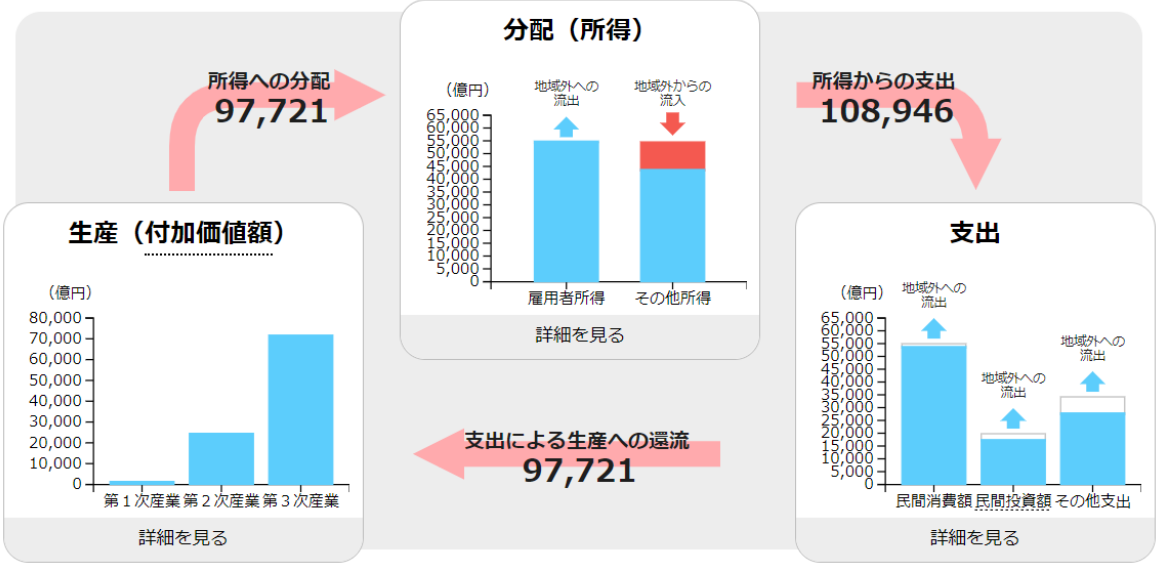


地域経済循環率
89.7%

地域経済循環図 2018年

宮城県

指定地域：宮城県



3. 観光マップ（目的地分析）

目的地分析では、ウェブサイトや携帯電話・スマートフォン等で月間約 2,700 万人が利用するナビゲーションサービスを使って経路検索された目的地を示しています。

栗原市では、2022年すべての期間（休日）において「栗駒高原いわかがみ平」、次いで「道の駅路田里はなやま」が自動車による目的地として並んでいます。（公共交通機関によるデータ無し）

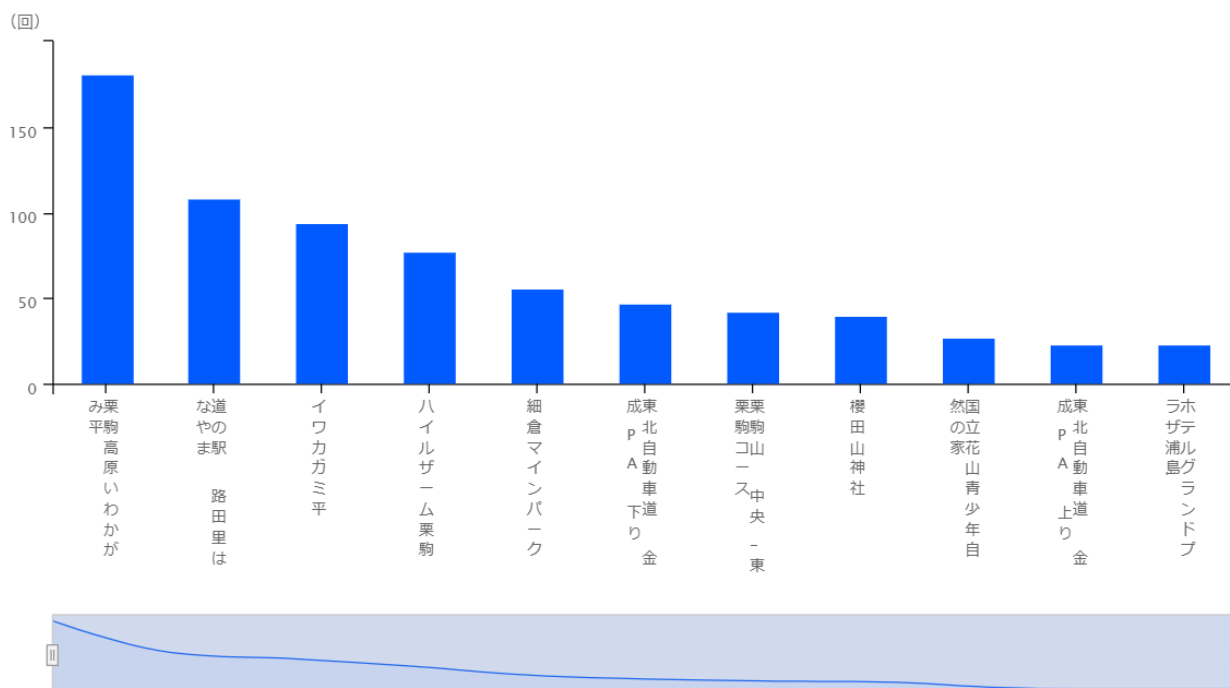
宮城県全体での自動車による目的地としては「蔵王御釜」、次いで「セキスイハイムスーパーアリーナ」、「三井アウトレットパーク仙台港」、「イオンモール名取」が続いており、公共交通機関による目的地としては「セキスイハイムスーパーアリーナ」、次いで「楽天生命パーク宮城」、「仙台サンプラザホール」等のイベント・スポーツ施設が続いています。

栗原市の目的地一覧

2022年すべての期間（休日）

栗原市

自動車

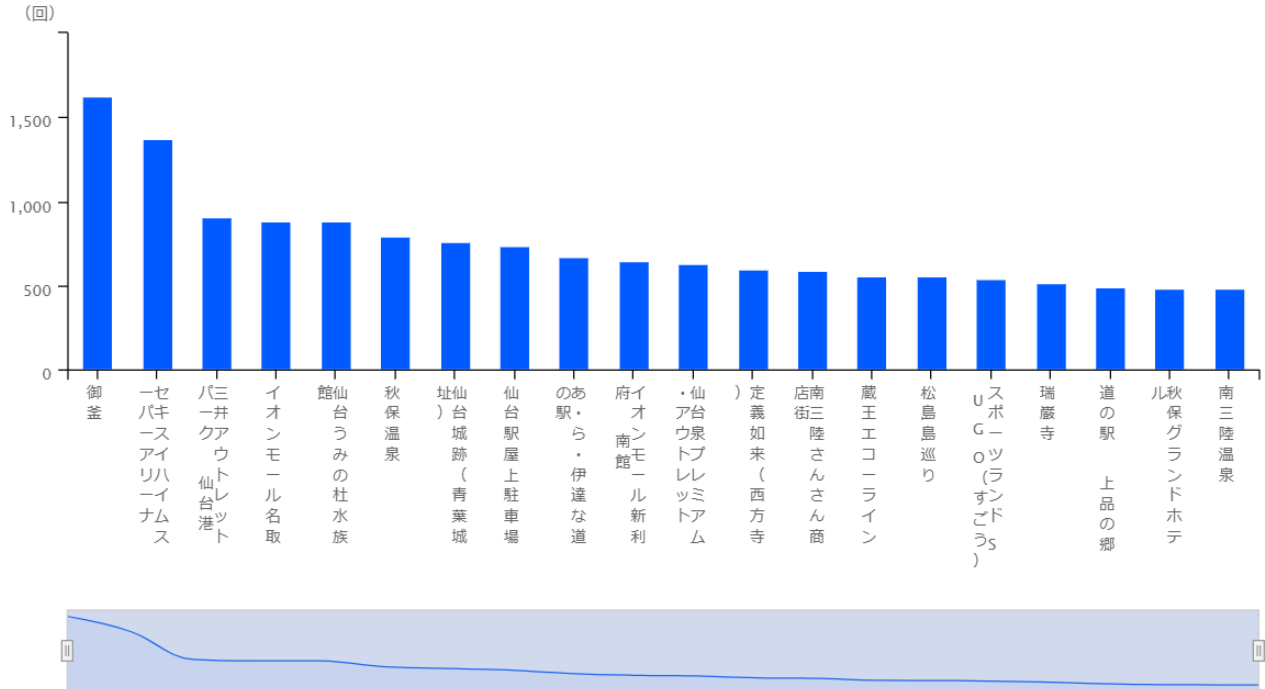


宮城県の目的地一覧

2022年すべての期間（休日）

宮城県

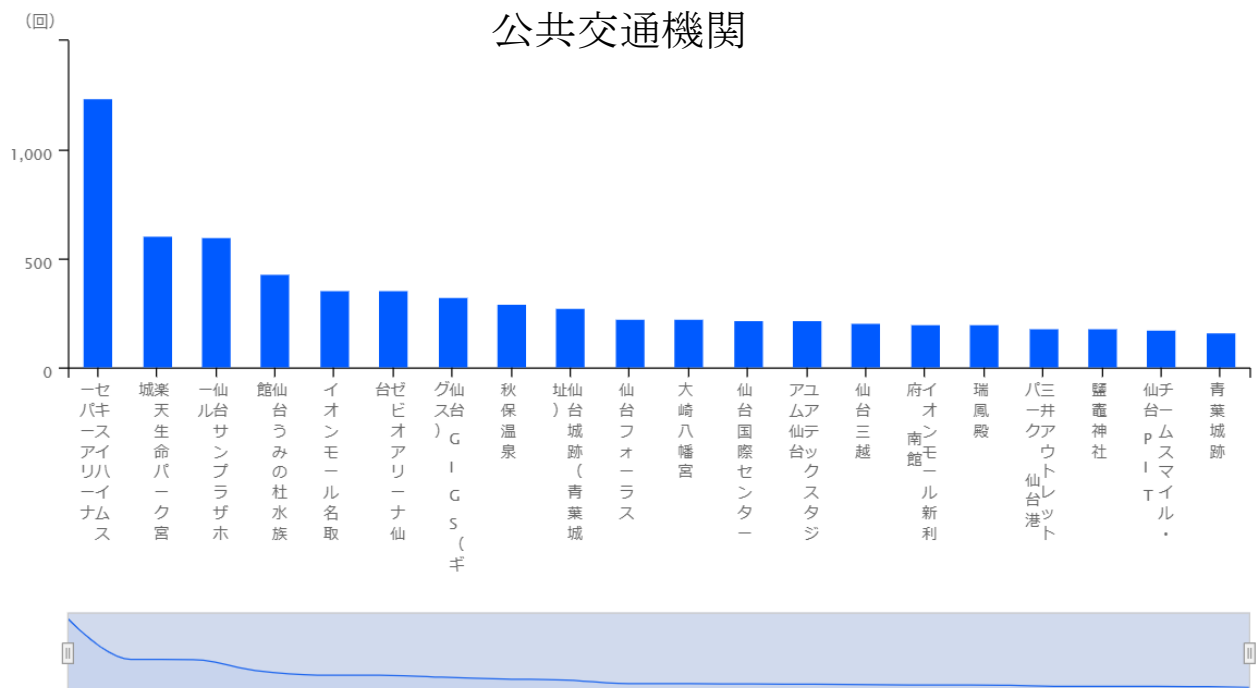
自動車



宮城県の目的地一覧

2022年すべての期間（休日）

公共交通機関



3. まちづくりマップ（From-to 分析（滞在人口））

From-to 分析（滞在人口）では、平日・休日別、時間帯別、性別、年代別に、どの地域から来る人が多く滞在（短期的な人口移動）をしているかを示しています。

2022年末における栗原市の滞在人口合計では、休日が47,893人、平日が48,946人となっており、平日の滞在人口率の方が休日と比較して約2.2%高くなっています。

休日における栗原市への都道府県外からの滞在人口構成では、「岩手県」が1,068人と、全体の3分の1を占める割合で最も多く、次いで「埼玉県」が453人、「東京都」が428人となっています。

平日における栗原市への都道府県外からの滞在人口構成では、「岩手県」が1,225人、次いで「東京都」が403人、「神奈川県」が244人、「埼玉県」が220人となっており、関東首都圏からの割合が増加しています。

滞在人口の地域別構成割合 都道府県 → 栗原市

2022年12月（休日）14時

滞在人口合計：47,893人（滞在人口率：1.00倍）

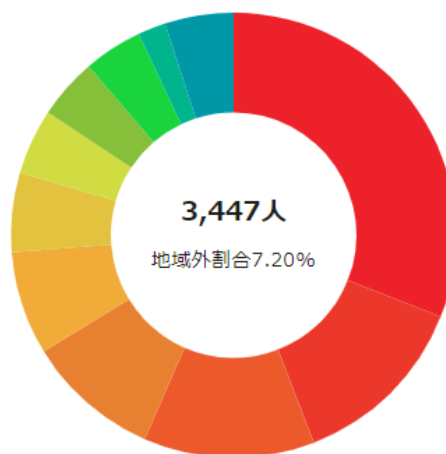
滞在人口 / 都道府県内



滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 宮城県 44,446人 (100.00%)

滞在人口 / 都道府県外



滞在人口/都道府県外ランキング 上位10件

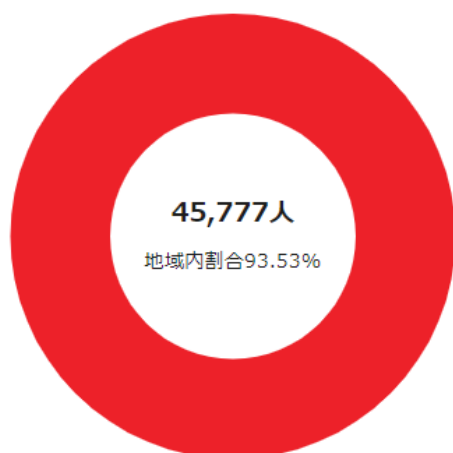
- 1位 岩手県 1,068人 (30.98%)
- 2位 埼玉県 453人 (13.14%)
- 3位 東京都 428人 (12.42%)
- 4位 神奈川県 335人 (9.72%)
- 5位 千葉県 259人 (7.51%)
- 6位 福島県 198人 (5.74%)
- 7位 秋田県 165人 (4.79%)
- 8位 山形県 152人 (4.41%)
- 9位 青森県 147人 (4.26%)
- 10位 栃木県 70人 (2.03%)
- その他 172人 (4.99%)

滞在人口の地域別構成割合 都道府県 → 栗原市

2022年12月（平日）14時

滞在人口合計：48,946人（滞在人口率：1.02倍）

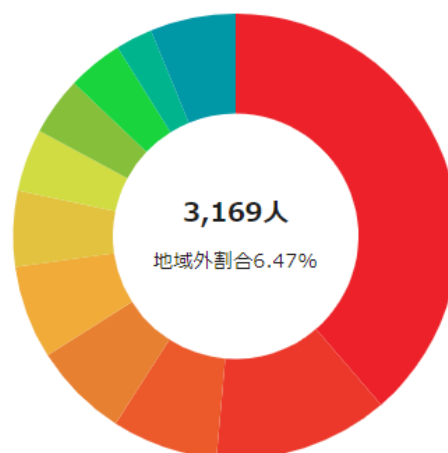
滞在人口 / 都道府県内



滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 宮城県 45,777人 (100.00%)

滞在人口 / 都道府県外



滞在人口/都道府県外ランキング 上位10件

- 1位 岩手県 1,225人 (38.66%)
- 2位 東京都 403人 (12.72%)
- 3位 神奈川県 244人 (7.70%)
- 4位 埼玉県 220人 (6.94%)
- 5位 秋田県 215人 (6.78%)
- 6位 千葉県 174人 (5.49%)
- 7位 青森県 144人 (4.54%)
- 8位 山形県 134人 (4.23%)
- 9位 福島県 128人 (4.04%)
- 10位 北海道 85人 (2.68%)
- その他 197人 (6.22%)

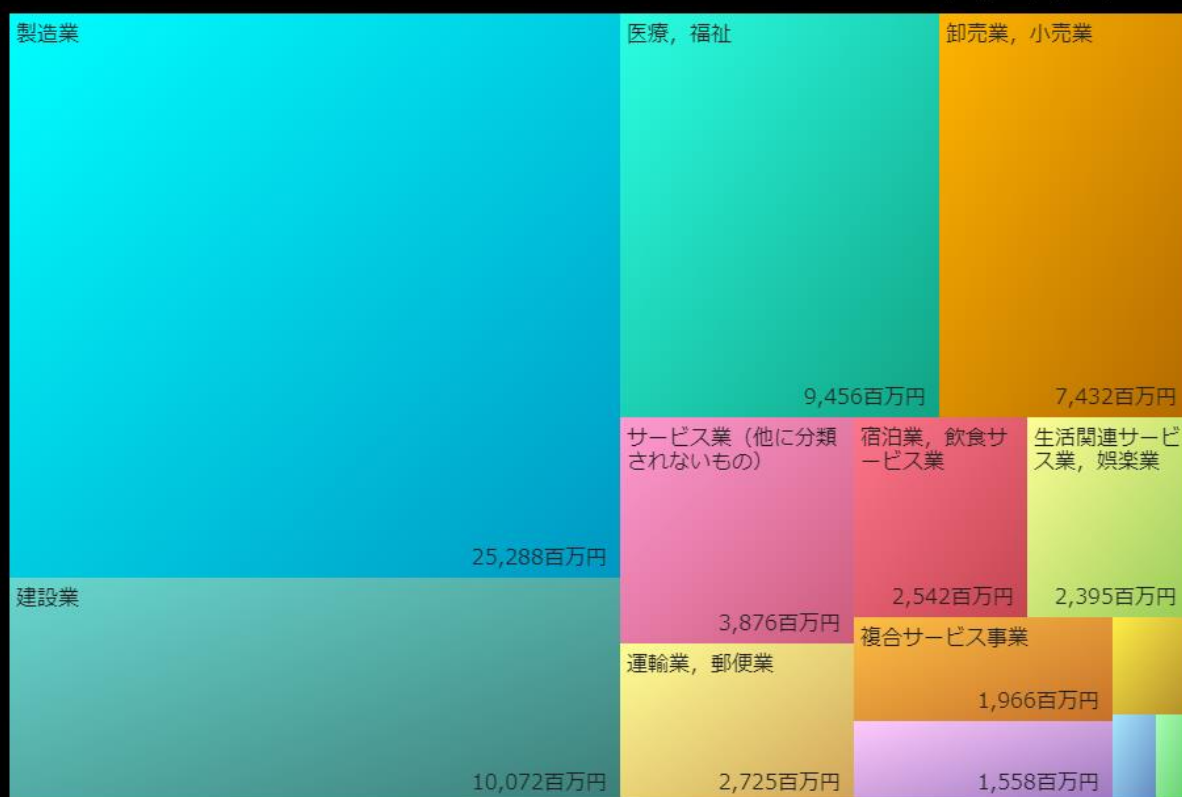
4. 産業構造マップ

産業構造マップでは、地域の付加価値額、従業者数、労働生産性の特化係数を分析することで、自地域で強みのある産業を特定できます。

付加価値額（企業単位）において、栗原市では「製造業」、次いで「建設業」、「医療・福祉」となっており、従業員数（企業単位）においては、「製造業」、次いで「卸売業・小売業」、「医療・福祉」と「建設業」が同率で推移しており、企業数（企業単位）では、「卸売業・小売業」、次いで「建設業」、「生活関連サービス業」、「宿泊・飲食サービス業」がほぼ同率の割合となっています。

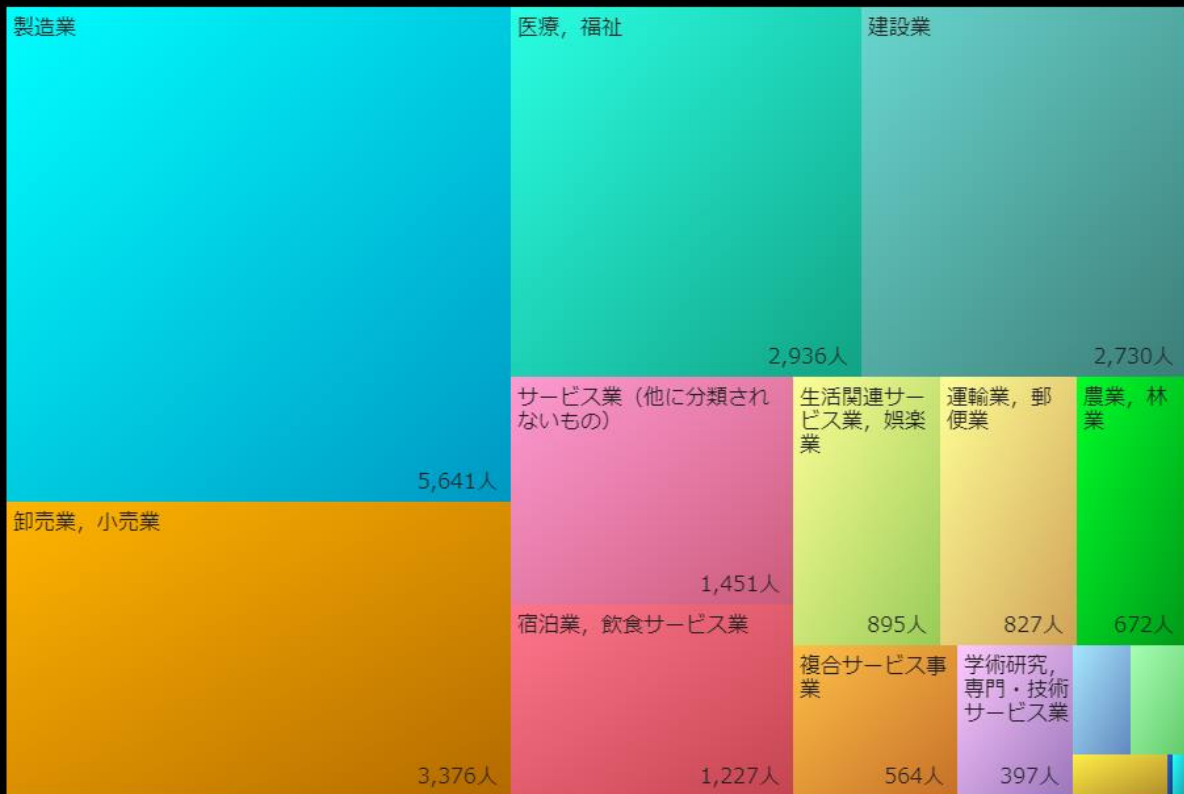
2016年 付加価値額（企業単位）大分類

付加価値額(企業単位) : 70,238百万円



2016年 従事者数（企業単位）大分類

従業者数(企業単位) : 21,096人



2016年 企業数（企業単位）大分類

企業数(企業単位) : 2,381社

